

## イルカショー、シャチショーに終止符 鯨類の捕獲や展示・繁殖の廃止は世界的な流れ

- カナダでは、イルカの捕獲や繁殖を禁止する法案が可決された。
- フランスは飼育されたイルカの繁殖やふれあいを禁止し、海からの捕獲も禁止した。
- イギリスでは 1993 年以降、イルカを飼育する水族館はないが、市民は鯨類の保護に熱心。つまり、飼育が保護熱につながるわけではない。
- インドは、イルカを「人（人格を有する存在）」と認め、飼育を禁止した。
- ロシアでは販売のために捕獲され、劣悪な「イルカ監獄」に閉じ込められていたシャチやベルーガ（シロイルカ）が解放された。シャチを絶滅危惧種として捕獲禁止にする予定。
- アメリカでは、シャチショーで有名な「シーワールド」がシャチの繁殖やショーの廃止を決定。カリフォルニア州は 2016 年にシャチの繁殖を禁止した。
- ニューージーランドは観光客がイルカと泳ぐのを禁止している。
- 韓国は日本からのイルカの輸入を禁止。違法に捕獲されたイルカ 4 頭を自然の海に戻した。
- 大手旅行サイト TripAdviser はイルカやシャチショーのチケット販売を停止。日本語サイトにもそのルールが適用されている。

## サンクチュアリ～展示から保護へ

サンクチュアリ（擬似自然保護区）では、より本来の生息地に近い環境で、ショーや展示、食肉などに利用されずに、動物たちを保護し、終生飼育します。サンクチュアリにいるのは、サーカスや畜産場などの劣悪な環境からレスキューされた動物たちです。海外では水族館から保護されたイルカのサンクチュアリのプロジェクトが進められています。私たちもそれに続きましょう！

The Whale Sanctuary Project  
<https://whalesanctuaryproject.org>

The SEA LIFE Trust  
<https://belugasanctuary.sealifetrust.org/en/>

Archipelagos - Institute of Marine Conservation  
<https://archipelago.gr/en/>

National Aquarium Dolphin Sanctuary  
<https://www.aqua.org/Support/BLUEprint/dolphin-sanctuary>

WHALE AND DOLPHIN CONSERVATION  
<https://uk.whales.org>

Heirs To Our Oceans  
<https://h2oo.org>

## 水族館は癒し？ 誰にとって？

人間は、イルカショーなどの動物ショーを楽しんだ観客でも、水族館の飼育員でも、家に帰ったり、家族や友達と旅行をすることができます。海で泳いだり遊んだり、好きなことを楽しむことができます。しかし、水族館の動物たちはその間もずっと同じ、殺風景で狭いプールに閉じ込められたまま。人間よりもずっと速く、遠くまで泳いでいくことができるのに。



壁のない海に生きる動物が  
コンクリートの壁や水槽に  
閉じ込められています

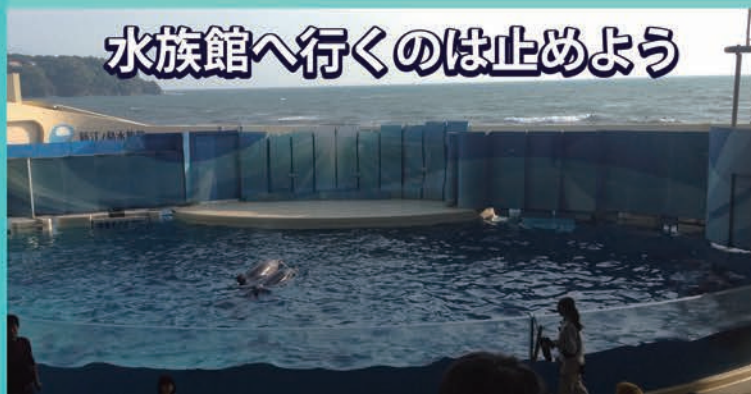


動物たちにとって  
ひとつしかない命。  
いちどかぎりの生涯。  
人間の楽しみのために  
使っているのでしょうか

目の前に広い海があっても  
水族館のイルカや生きものたちは海に戻ることができません

「日本にもイルカサンクチュアリを！ ハニー通信」第2号 2020年5月 日発行  
発行／PEACE 命の搾取ではなく尊厳を、認定 NPO 法人アニマルライツセンター  
ハニーキャンペーン <https://animals-peace.net/honey/>  
問い合わせ先／ [info@animals-peace.net](mailto:info@animals-peace.net)

## 水族館へ行くのは止めよう



日本にもイルカサンクチュアリを！

ハニー通信・第2号

# イルカのハニー

## イルカ追い込み猟と イルカショーに奪われた生涯

- イルカ追い込み猟とは
- イルカショーのイルカ、家族はイルカ肉に
- 死亡率の高いイルカの人工繁殖
- 水族館のプールは病気とストレスだらけ
- イルカショーに終止符、海外の流れ
- 展示から保護へ、イルカのサンクチュアリ

ハニー通信第2号は、2020年3月29日に死亡した犬吠埼マリナパークのハニー追悼号として、その生涯から日本の鯨類飼育の問題をまとめる形にしました。

閉館した水族館でひとりぼっちのまま、  
海で生まれたハニーは水族館で病死した



## ハニーの生涯

※数字は、右のページの項目に対応

和歌山県太地町のイルカ追い込み猟で捕獲された。ハンドウイルカのメスで、5歳くらい。千葉県銚子市の犬吠埼マリパークまで16時間の長距離をトラックで運ばれたが、この時すでに妊娠していた。① ②

2005年  
2月



2005年  
6月

水槽でオスの「マリン」を出産。ハニーの家族はイルカ肉にされており、マリンの父親も同様だろう。①



2007年  
12月

一緒にイルカショーに利用されていたエポ、ラン、エル、マリンが死亡。息子のマリンは母親のハニーよりも先に亡くなってしまった。④



2017年  
12月

共に生き残っていたビーが死亡。これによりハニーは単独飼育となりショー中止。ストレスからか、ふさぎ込み、飼育員の言うことをきかなくなった。⑥



2018年  
1月

経営不振と設備老朽化により犬吠埼マリパークが突如、廃業。ハニーは狭すぎる水槽に独りぼっちで取り残されてしまった。敷地内には約500匹の魚や爬虫類、46羽のファンボルトペンギンが残された。③ ⑥



2018年  
3月~

ハニーの背中皮膚は日焼けによりひび割れ、力なくプクプクとプールに浮かぶ姿や、ストレスによる常同行動がたびたび目撃された。④



2018年  
8月

「イルカのハニーを助けて！はがきアクション」開始。外部との一切の接触を拒むマリパークに対し、ハニーの解放を望むハガキが多数マリパークに送られた。海外のマスコミや保護団体からも注目を集める。よい環境への移動や改善を求める人々に対し、マリパークは黒い幕を張ってハニーの姿を隠し続けた。



2019年  
7月

施設を所有する法人のオーナーが変わり、「ハニーを中国に売るつもり」との報道が、人々に衝撃を与えた。



2020年  
3月

ハニー死亡。死因は閉塞性腸炎。背中にはえぐられたような傷があり、皮膚炎の治療をしていたとされるが、その末に腸炎を発症し急死という痛ましい最期となった。海で生け捕りにされてから約15年、水族館とイルカショーに奪われた生涯だった。④ ⑥

## ① イルカ追い込み猟とイルカショー

### ●和歌山県太地の食用と生体販売のための捕獲、そして静岡県富戸での再開

和歌山県東牟婁郡太地町でイルカ追い込み猟が始まったのは1969年。「太地町立くじらの博物館」で展示するイルカを生け捕りにするため、静岡県伊東市富戸から追い込み猟を導入。捕獲されたイルカは食用と生体販売に選別される。つまり、イルカショーのイルカは家族をイルカ肉に殺されたイルカたちだ。太地で捕獲されたイルカは海外にも高値で輸出され、主な輸出先は水族館が急増する中国。

静岡県富戸では、回遊するイルカの減少により15年間イルカ追い込み猟が行われてこなかったが、水族館への生体販売のみを目的として2019年に再開された。太地での歴史の浅さ、富戸の再開目的からわかるように、イルカ追い込み猟は、水族館のイルカ利用のために促されてきており、伝統や文化とは言えないものだ。

### ●生態系への深刻な打撃

捕まりやすいのは、まだ泳ぐのが上手でない子どもを連れた親子イルカ。水族館が買いたがるのは主にキズのない若いメスだ。イルカは母親を中心とした群れを構成するため、メスの捕獲は、群れが構成される可能性を奪う。

## ③ イルカの身体能力と行動範囲に対して狭く浅い水族館の水槽

### ●イルカの身体能力

移動距離：1日に65~100kmを移動

潜水の深さ：100m~300m

泳ぎの速さ：時速15km~40km

エコーロケーション：音波の反響を使ってコミュニ

ケーションをとったり、水中の物体を識別。砂の中の魚を

見つけることもできるほど精度が高く、100m以上先の物体もわかる



## ④ 水槽は病気とストレスだらけ

### 死ぬ

### ●イルカ本来の環境を水族館で再現するのは不可能

イルカは一度の呼吸で肺の約80~90%の空気を入れ替える。水族館では、海にはないカビや細菌も肺に取り込んでしまうため肺炎になりやすい。消毒のため水に入れる塩素によって、目の白濁や皮膚の剥離を引き起こす危険もある。皮膚の新陳代謝は2時間ごとと、早いサイクルで皮膚が垢が剥がれ落ちる。排泄物は霧状に広がり水中に溶ける。ショーで観客に浴びせる水は排泄物や垢入りの水だ。

### ●後を絶たないイルカの死亡

肺炎、消化器の異常、食欲不振、細菌感染症、敗血症などの病気に加え、ショーでの事故などで、水族館ではイルカがよく死ぬ。体調不良で体内にガスがたまる<sup>④</sup>と体が浮き、背中皮膚が日焼けで傷む。殺風景で変化のないプールに閉じ込められるストレスは病変に現れ、死に至る。野生のハンドウイルカの寿命は約45~50年だが、飼育下では、多くのイルカが短命に終わる。

## ⑥ ハニーだけではない水族館のイルカたちの悲劇

### ●ショーやふれあいに適さなかったイルカの末路

人を噛んだり他のイルカと相性が悪いなど、ふれあいやショーに使えないイルカは、生き延びたとしても哀れだ。ぼつんと隔離され、ただ餌を与えられるだけの飼育の日々である。繁殖のために飼われるオスのイルカは、繁殖計画がないときや子育てに邪魔なときなどはメスと一緒にすることができず、一頭だけで隔離されてしまう。野生では他の群れに移ったりもできるが、飼育下ではただ孤独に耐えるしかない。単独飼育は、社会性の高いイルカにとって過酷な環境だ。

## ② 水槽までの恐怖とリスク

### パニック

### ●金属音の恐怖、殺される群れ、親子

視界の効かない海の中で、イルカは音の世界で生きている。イルカ追い込み猟は「ハツオンキ」と呼ばれる金属の棒を海中に入れ、船上から叩いて金属音をあたり一面に鳴り響かせる。音に敏感なイルカを金属音で極限のパニック状態にして捕獲する猟法そのものが、残酷な虐待だ。

### ●捕獲後に続くストレスと死のリスク

生け捕りにされたイルカは何度も死の危険に直面する。恐怖で湾に追い込まれ、ぶつかり合って血を流し、捕獲時にはパニックで死亡する。さらに生簀(いけす)に入れられたストレスで死亡し、長距離輸送でのリスクやストレスでも死亡。そしてプールに入れられたストレスでも死亡する。



輸送箱

## 水族館の水槽

### ストレス

### 苦しみ

### ●水族館のプールの環境

広さ：9×17m、直径24mなど

深さ：3~5m、深いものでも12m

水質：消毒のため塩素などの薬品を投入

食事：凍らせた魚を解凍し、サブリなど人工化合物を添加。エコーロケーションで魚を探し追いかける行動欲求は満たされない



## ⑤ 難しいイルカの人工繁殖

### ふえない

### ●子育ての環境、海と水槽の落差

イルカは母親を中心とした群れ=家族で暮らし、若いメスが子守をしながら子育てを学ぶこともある。社会性を学びながら成長し、5歳ほどで繁殖年齢に達する。1回の出産で1頭しか子どもを産まない。狭い水槽では他のイルカが子育ての邪魔になることもあり、飼育下は子育てには適さない。水族館でイルカの母親が子どもを内側にしてグルグルと泳ぐのは、水槽の壁に子どもがぶつからないよう、守るためだ。本来なら、壁のない海を泳ぐ動物なのに。

### ●赤ちゃんの死亡率の高い人工繁殖

飼育下でのイルカの繁殖はとても難しく、水族館で産まれた赤ちゃんが1年以内に死ぬ確率は80%から90%と、とても高い。「可愛い赤ちゃんが産まれました」と宣伝に使われる一方で、悲劇が続く。繁殖でふやせず、大人のイルカもしばしば死ぬため、追い込み猟に頼っているのが日本の水族館の実態だ。日本動物園水族館協会加盟の水族館だけが、追い込み猟からのイルカ導入を止めた。

### ●人々の無理解や欲望がイルカを不幸にする

イルカは表情筋がないため、一見笑っているように見えるが、それは人間の思い違いに過ぎない。ショーの調教は、餌を利用して仕込む。

イルカ本来の生き方も、家族仲間も、何もかも奪われたハニーのような悲劇は、人々がイルカショーを求めるときぎり続くだろう。連鎖を、いませよう！